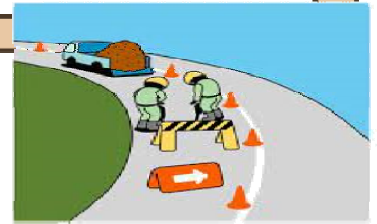


# 和地ひとみレポート No.473

## 東大和市道路舗装修繕計画

### 舗装道路の維持管理を計画的に実施



#### ■市内の道路約228kmの舗装状況を調査

…日本の道路は、「私道」と「公道」に分けられ、普段私たちが主に利用しているのは、国道と都道府県道、そして市町村道などの公道です。ちなみに、私道は、個人や企業が持つもので、都内から近いところでは、箱根のターンパイクが良く知られていると思います。

#### ◇国道

正式名称は「一般国道」。全国の主要な地点を結んでいる「幹線道路網」として指定された道路のことを指す。一般国道は以下の2つに分類される。

①直轄国道(指定区間)……国道の中でもとくに重要な路線。車の往来が激しい道路で、整備がほぼ完了している区間を指す。道路の管理者は国土交通大臣。

②補助国道(指定区間外)……都道府県または指定市の長が管理をしている道路。同じ「国道〇〇線」という名前がついていても、場所によって直轄国道だったり、補助国道だったりするケースもある。

#### ◇都道府県道

その地方の主要な場所を結び、さらに定められた要件に該当している道路を指す。都道府県知事が路線を認定。

#### ◇市町村道

市町村の区域内に存する道路で、市町村長が認定した道路を指す。また認定、廃止等は議会に諮られる。

…これら私たちが、日常的に使用している道路。今では、舗装されていることが当たり前ですが、道路も建物と同様に経年劣化します。

…上記の通り、市が管理するのは市道ですが、東大和市は令和2年度から3年度にかけて市内の舗装道約228kmについて、車道の損傷状況を調査。(歩道は除く)。そして、このたび計画的かつ効率の良い舗装修繕を実施していくために、舗装修繕計画を策定しました。

#### ■道路の状況は

…東大和市では「桜街道」(イトーヨーカドーとヤオコーの間の東大和市駅から続く道)などの交通量の多い幹線道路から、住宅街の中や丘陵部を通過する交通量の少ない生活道路まで様々な形態の道路を管理していますが、今回の調査により、全体の74.3%(約170km)は健全な状態であることが確認できたとのこと。

残りの20.3%(約46km)は中程度、5.4%(約12km)は修繕が必要な状態だったとのこと。

…その主な損傷形態は舗装表面に発生するひび割れ。しかも交通量の少ない生活道路で損傷が進行している傾向があったようです。

#### ■予防保全によりコストを削減

…今回策定された道路舗装修繕計画では、調査により判明した舗装の損傷状態に加え、「交通量区分」、「緊急道路」、「通学路」、「バス路線」等といった項目も取り入れ、修繕の優先順位を決定したとのこと。

…また、以下の2つのケースのライフサイクルコストを比較検討し、限られた予算の中で効果的な修繕計画を策定するそうです。

#### ①予防保全型:

致命的な損傷が発生する前に修繕を行うケース

#### ②事後保全型:

致命的な損傷が発生した段階で修繕を行なうケース

#### 【ライフサイクルコストとは】

ライフサイクルコスト(Life cycle cost)とは、製品や構造物(建物や橋、道路など)が作られてから、その役割を終えるまでにかかる費用をトータルでとらえたもの。生涯費用と呼ばれたり、LCCと略されることもある。

道路施設のライフサイクルコスト(LCC)は、道路管理者費用(調査・設計費用、修繕改築費用)、利用者費用(車両走行費用、時間損失費用、事故費用)、および沿道・地域社会の費用(騒音や大気汚染などの環境費用)等を勘案して算定される。

…そして、今回の道路舗装修繕計画策定にあたり、「予防保全型」と「事後保全型」のライフサイクルコストを算定した結果、今後20年間を対象としたライフサイクルコストの試算では、「事後保全型」と比較し、「予防保全型」で修繕を行っていくことで約9億円のコスト削減効果が見込めることに。よって、東大和市では「予防保全型」の維持管理を基本に修繕計画を策定したとのこと。

…ライフサイクルコストの算定に用いられる項目を見ると、利用者費用には事故、渋滞や工事期間の長期化による迂回などの時間損失といったものもありますし、路面の悪化などによる騒音や大気汚染の増加による沿道・地域社会の費用も増していくことが考えられます。よって、そのような費用が発生する前に修繕を行う「予防保全型」の方が、コストが削減できるというのは頷けます。

…実際、過去の議会での報告事項の中にも、道路の穴に引っ掛かり転んでケガをした方に治療費を支払ったなどというものもありました。道路管理者として、このような事故が起こらないようにするためにも、「予防保全型」を選択すべきだと思います。

(裏面に続く)

## ■今後の計画は…

…市は今回策定した修繕計画に基づき、国の補助金を活用して道路舗装の修繕工事を進めていくとのこと。その概要は、5年に1度点検を行ったうえで、必要に応じて修繕計画を見直すことを基本に、突発的に発生する穴や段差等については、別途対応を検討していくとのこと。

### 【修繕計画の概要】

年度	修繕予定 (Km)	年度	修繕予定 (Km)
R6年	1.1	R16年	1.5
R7年	1.3	R17年	1.6
R8年	点検	R18年	点検
R9年	1.6	R19年	2.1
R10年	2.0	R20年	1.4
R11年	1.8	R21年	1.8
R12年	2.2	R22年	1.8
R13年	点検	R23年	点検
R14年	1.7	R24年	2.0
R15年	2.2	R25年	0.8

## ■“当たり前”の維持には多くの財源が必要

…東大和市だけでなく、全国の多くの自治体が公共インフラ（道路、下水道、橋梁、トンネルなど）と学校や公民館、市役所などの公共施設の老朽化対策に直面しています。

…私たちにとって、道路に穴やデコボコがないこと、下水がトラブルなく流れることなどは“当たり前”のことですが、この“当たり前”を維持していくことには、大きな財源が必要。令和5年度当初予算でも道路関係には以下の予算が計上されています。

### 【主な道路関係の令和5年度当初予算】

- ・道路管理費(清掃委託料等):約 5,773 万円
- ・街路灯管理費:約 6,751 万円
- ・道路補修事業費:約 3,000 万円
- ・街路樹管理費:約 5,300 万円
- ・道路改良費(舗装補修等):約 2 億 960 万円

…今後、市民の安心・安全のためにも、生活の基本を支える公共インフラの維持管理について市は、限られた財源の中で、計画的にしっかりと“当たり前”を維持できるように取り組む必要があります。

## 市議会議員3期、12年…

# 今号を「和地ひとみレポート」の最終号とさせていただきます。

…2011年4月に市議会議員として初当選させていただいてから12年が経ちます。

市議会議員になる前の私は、会社員として駅を利用していましたが、選挙が近くなると駅前に様々な立候補者が立ち、そして、次の選挙まで見かけないことに少し違和感を持っていました。また、国政であれば、毎日のように報道でその一端を知ることができますが、こと足元の市政については、日常的に把握することができないため、関心も薄かったと思います。

…市議会議員として市民の皆様への負託に応える立場とさせていただき、市政に関わってみると、私たちの日々の暮らしに関係のある、まさしく様々な事に市政が関係していることを実感しました。特に、いわゆる“自治体間競争”が激しくなっているこの頃、どこの自治体も財政が厳しいこの頃においては、住んでいる自治体の行財政運営によって日常生活に大きな差が出ることも。

…そんなことを実感した私は、市政で日々起こっている様々なことをタイムリーに、そして市民目線で、自身の考えを添えて市民の皆様にお知らせすることも市議会議員の務め…と考え、初当選以来12年間、この市政レポートを作成してきました。誤字脱字やつたない内容等、反省すべき点は多々ありますが、多くの方に手に取っていただけたことで、自身の考えている市議会議員の役割の1つを少しは果たせたのではないかと考えております。

…正直、レポートを作成し、駅に早朝から立つということは、時々、くじけそうになったこともあります。振り返ってみると、市議会議員としての基本、すなわち、市民の皆様と直接お会いすること。支援者だけの内輪の人だけではなく、様々な年代の方、現役世代の方とお会いすることにより、肌で感じることは多く、私自身の力になったと思います。

…私の市議会議員としてのスタートの年は東日本大震災の年。そして、コロナ禍…。この12年間は本当に予想もしていなかったことがあり、市政はますます重要度を増しました。そのような中、朝の駅では、市民の皆様と顔を合わせ、笑顔で挨拶をかわし、様々なご意見を頂戴することが出来ました。市民の皆様から負託された公職の責任を忘れないでいること。そして、市民目線、市民感覚を持ち続けることは、この活動から得た“いつまでも大切にしていきたいこと”の1つです。今までお読みいただき、ありがとうございました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

## 【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。3期目の任期3か月を残し、2023年1月末日付で議員辞職。



もと東大和市議会議員  
和地 ひとみ

### ■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp)

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102